

◆修士論文の体裁について◆

地球惑星科学専攻

- (1) 用紙は A4 縦置きとし、横書きのシングルカラムとする。
- (2) 論文は、表紙、要旨、目次、本文、謝辞、参考文献から構成され、本文には一般的な学術論文に必要と考えられる内容（イントロダクション、データや手法の説明、結果、考察）が適切な章立てにより含まれること。
- (3) 和文の場合は「MS 明朝」体 12 ポイント程度、英文の場合は「Times」12 ポイント程度、あるいはこれらと同等のフォントを使用すること。
- (4) 行間は 1 行あけ（single spacing）、余白は、上下 3cm、左右 3cm 程度とること。
- (5) 図や表は、最初にそれらを引用する本文中に配置すること。もしこれができない場合には、文章と図は別のページとなってもよいが、引用される箇所に続く最も近いページとして挿入すること。図が非常に多い場合には、各章の最後にまとめても良い。ただし、全ての図や表を論文の最後にまとめて掲載するスタイルはとらないこと。図表には、必ずキャプションを付けること。
- (6) 本文が和文の場合には英文要旨、本文が英文の場合には和文要旨も作成すること。
- (7) 本文には、ページ番号を各ページの中央下部に表示すること。
- (8) 参考文献のスタイルは指定しないが、著者名、論文タイトル、発行年、雑誌名、巻、ページ、あるいは doi 番号など必要情報が含まれており、修士論文内では統一されたフォーマットとなっていること。本文中では、著者名と年号によって参考文献を引用すること。

※以上の体裁を反映した日本語版と英語版のテンプレートとして pdf ファイル・MS-Word ファイル が用意されているので参考にすること。

以上